

日本人戦没者の数

先の大戦は、西太平洋の島々を含むアジア全域に及ぶ広大な戦域において、長年にわたって続けられた苛烈な戦争であった。

この戦いにおける国内外の戦没者は軍人軍属、一般邦人合わせて約310万人といわれている。これらの戦没者のうち、日本本土以外の海外各戦域（硫黄島、沖縄を含む）における戦没者は、約240万人（軍人軍属約210万人、一般邦人約30万人）と公表されている。

主要地域別日本人戦没者数一覧

A 陸海軍人軍属戦没者数一覧 (一般邦人を除く)

「財団法人千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
リーフレットに記載の図中の数値」

B 軍人・軍属・一般邦人を含む一覧

「千鳥ヶ淵戦没者墓苑創建50年史」((財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会編 H21.3.28 発行)
12頁に記載の文及び図中の数値」

日本本土	103,900人	日本本土	700,000人
小笠原	15,200人		
沖縄	89,400人	沖縄	186,500人
朝鮮	26,500人	朝鮮	53,500人
台湾	39,100人	台湾	41,900人
満州	46,700人	満州	245,400人
中国本土	455,700人	中国本土	465,700人
樺太	8,800人	樺太・千島・アリューシャン	24,400人
アッツ島	2,600人		
ソ連邦	55,000人	ソ連邦	54,400人
硫黄島	20,000人	硫黄島	21,900人
南鳥島	857人		
中部太平洋諸島	197,600人	中部太平洋諸島	247,000人
マーシャル諸島	7,790人		
ギルバート諸島	5,214人		
フィリピン	498,600人	フィリピン	518,000人

仏 印	12,400 人	仏 印	12,400 人
マライ・シンガポール	11,400 人	タイ、マレー、シンガポール	21,000 人
タ イ	7,000 人		
ビ ル マ	164,500 人	ビ ル マ	137,000 人
		イ ン ド	30,000 人
アタマン・ニコバル	2,400 人		
ジ ャ ワ	6,500 人	蘭印(インドネシア)	31,400 人
ス マ ト ラ	3,200 人		
セ レ ベ ス	5,500 人		
ボ ル ネ オ	18,000 人	北 ボ ル ネ オ	12,000 人
モ ル ツ カ	4,400 人		
小スタ・西部ニューギニア	82,600 人	西部ニューギニア(西イリアン)	53,000 人
東部ニューギニア	127,600 人	東部ニューギニア	127,600 人
ビスマルク諸島	30,500 人	ビスマーク・ソロモン諸島	118,700 人
ソロモン 諸 島	88,200 人		

総数(一般邦人を除く) 2,137,161 人 (概数)

総数(一般邦人を含む) 3,101,800 人 (概数)

(うち海外 2,400,000 人)

- 【備考】 1. 本図は、もとの陸海軍人軍属を対象としている。
2. 本図は支那事変関係戦没者 188,000 人を含む。
3. 国名、地名は、大戦当時のものである。

【注】 Aは、財団法人千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会リーフレットに記載の図中の数値を引用しました。

Bは、「千鳥ヶ淵戦没者墓苑創建 50 年史」((財)千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会編 H21.3.28 発行)12 頁に記載の文及び図中の数値を引用しました。

【参考】 <http://tamutamu2011.kuronowish.com/tidorigafuti.htm>
<http://boen.or.jp/boen01.htm>
<http://www.zephyr.dti.ne.jp/~kj8899/asia-pacific%20war.html>

【我が家のホームページ】 <http://www.max.hi-ho.ne.jp/nvcc/TRY4.HTM> より引用